

まちづくり交付金 事後評価シート  
中央地区

平成22年3月

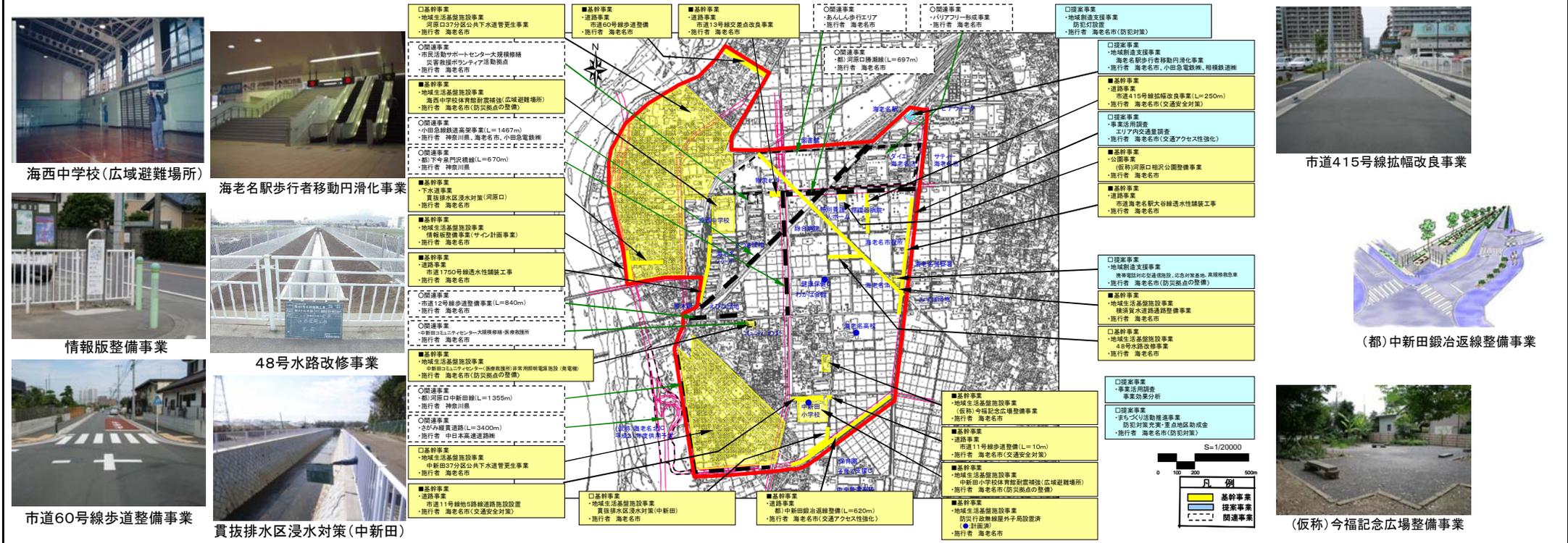
神奈川県海老名市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	海老名市	地区名	中央地区	面積	234ha					
交付期間	平成17～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	1,882百万円	国費率	0.41					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路【(都)中新田鍛冶返線整備事業、市道415号線拡幅改良事業、市道11号線歩道整備事業、市道11号線他道路施設設置】、地域生活基盤施設【中新田小学校(広域避難場所)、海西中学校(広域避難場所)、中新田コミュニティセンター(医療救護所)】									
		提案事業	地域創造支援事業【携帯電話対応型通信施設、応急対策基地、高規格救急車、防犯灯設置】、事業活用調査【エリア内交通量調査】、まちづくり活動推進事業【防犯対策充実・重点地区助成金】									
	新たに追加した事業	基幹事業	事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	なし	-	-							
		基幹事業	市道60号線歩道整備事業	車道及び歩行者空間の整備が必要となったため事業を追加	指標3の住民満足度の向上が見込まれるため、数値目標を5%増から7%増に上方修正する。							
		基幹事業	市道海老名駅大谷線透水性舗装工事	歩行者の安全性をより一層高めるため事業を追加	指標3の住民満足度の向上が見込まれるため、数値目標を5%増から7%増に上方修正する。							
		基幹事業	市道1750号線透水性舗装工事	歩行者の安全性をより一層高めるため事業を追加	防災対策に関連するため、雨水災害対策に関する文言を目標2に追加した。							
		基幹事業	市道13号線交差点改良事業	交通渋滞緩和による交通アクセスの向上を図るため事業を追加	指標1に関連するが、数値目標は据え置くものとする。							
		基幹事業	(仮称)河原口相沢公園整備事業	地域住民の集いの場、地震等の災害時の避難場として公園を整備する必要が生じたため事業を追加	指標2に関連するが、数値目標は据え置くものとする。							
		基幹事業	貫抜排水区浸水対策事業(河原口)	近年の集中豪雨による浸水事故等への対策を推進する必要が生じたため事業を追加	防災対策に関連するため、雨水災害対策に関する文言を目標2に追加した。							
	基幹事業	防災行政無線屋外子局設置	中高層建物や一般住宅の増加による難聴地区を解消するため事業を追加	事業費の少額変更のみのため、指標への影響はなし。								
	基幹事業	河原口37分区公共下水道管更生事業、中新田37分区公共下水道管更生事業、貫抜排水区浸水対策(中新田)	近年の集中豪雨において下水管の処理能力が問題となっているため事業を追加	防災対策に関連するため、雨水災害対策に関する文言を目標2に追加した。								
	基幹事業	48号水路改修事業	多量降雨による浸水被害対策の整備拡充を図る必要が生じたため事業を追加	防災対策に関連するため、雨水災害対策に関する文言を目標2に追加した。								
	基幹事業	横須賀水道路道路整備事業	歩行者の安全・快適性の向上を図ることが必要となったため事業を追加	指標3の住民満足度の向上が見込まれるため、数値目標を5%増から7%増に上方修正する。								
	基幹事業	(仮称)今福記念広場整備事業	地域住民の集いの場、地震等の災害時の避難場として広場を整備する必要が生じたため事業を追加	指標2に関連するが、数値目標は据え置くものとする。								
	基幹事業	情報版整備事業	災害時において、住民、外来者の自主的な一時避難場所の誘導を図るため事業を追加	事業費の少額変更のみのため、指標への影響はなし。								
	提案事業	海老名駅歩行者移動円滑化事業	海老名駅利用者の利便性の向上を図る必要が生じたため事業を追加	指標3の住民満足度の向上が見込まれるため、数値目標を5%増から7%増に上方修正する。=添付様式1M77								
	提案事業	事業効果分析	事後評価に資する事業効果の分析等を実施するため	事業費の少額変更のみのため、指標への影響はなし。								
	交付期間の変更	当初	平成17～21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-				-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	海老名駅・IC間のアクセス時間	分	33	平成16年	6	平成21年	6	○	あり なし	新たな道路交通網の整備により、アクセス時間が大幅に短縮された。	平成22年5月頃
	指標2	防災拠点の整備	%	57	平成16年	70	平成21年	70	○	あり なし	地域防災計画に位置づけられた広域避難施設の整備により、被災者収容可能率が向上した。	-
指標3	生活の便利さ住民満足度	%	55	平成15年	62	平成21年	67	○	あり なし	新たな道路交通網の整備により、駅周辺部への利便性が向上し、買い物等の日常生活が便利になった。	平成23年10月頃	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	防災体制・対策への住民満足度	%	20	平成15年			31			各種防災対策や道路や歩道整備等により、地域の防災力が大幅に向上した。	平成23年10月頃	
4)定性的な効果発現状況	・防災体制・対策に対する住民満足度が事業開始前に比べ向上していることから、安心・安全な都市の創造が図られたといえる。(平成21年度市民意識調査より) ・小田急線と相鉄線との乗換の利便性が格段に向上し、海老名駅における交通結節機能の強化が図られた。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	特になし		都市再生整備計画に記載し、実施できた								
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス	・「(都)中新田鍛冶返線整備事業工事説明会」の実施 ・「海老名駅自由通路整備事業工事説明会」の実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	今後も市民の意見を聞いて、円滑な事業推進に努める			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	特になし		都市再生整備計画に記載し、実施できた									
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

## 様式2-2 地区の概要

中央地区(神奈川県海老名市) まちづくり交付金の成果概要					
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: まちのネットワークから安心・安全な都市の創造。 目標1: 道路網の整備により交通アクセス、交通安全、歩行者の快適性の向上を図る。 目標2: 防災拠点の整備と雨水災害対策を図り、災害に強い都市環境を形成する。 目標3: 防犯及び交通安全対策を図り安心・安全な歩行環境を確保する。	海老名駅・IC間のアクセス時間	単位: 分	33 H16	6 H21	6 H21
	防災拠点の整備	単位: %	57 H16	70 H21	70 H21
	生活の便利さ住民満足度	単位: %	55 H15	62 H21	67 H21
	防災体制・対策への住民満足度	単位: %	20 H15		31 H21



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題であった新たな道路交通網の整備により、アクセス時間が大幅に短縮され、アクセス性が向上した。</li> <li>○広域避難施設の整備により課題であった防災施設の機能強化が図られたが、災害時における避難路等の整備や地域住民の防災意識の向上を図る必要がある。</li> <li>○透水性舗装整備や浸水対策等の雨水災害対策により、地域防災力が向上したが、地区内にある未整備箇所について整備を推進していくと同時に、施設の適切な維持管理が必要である。</li> <li>○各種歩道整備により、公共施設へ安全にアクセスできる道路が整備され、歩行空間の安全性が向上したが、海老名駅周辺を中心とした回遊性の確保やバリアフリー化の推進を図る必要がある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■効果を持続させるために行う方策</li> <li>○整備したアクセス道路の適切な維持管理に努める。</li> <li>○整備した防災拠点施設の適切な維持管理に努める。</li> <li>○引き続き、雨水災害対策を推進し、災害に強い都市環境の形成に努める。</li> <li>○引き続き、歩行空間の確保に努め、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。</li> <li>■改善策</li> <li>○海老名駅周辺を中心とした回遊性を向上し、周辺地域の歩行者導線・施設の整備やバリアフリー化を行う。</li> <li>○引き続き、防災対策事業の一層の強化を図り、地域住民の防災意識の向上に努める。</li> </ul>